

第 1 節 概略

1. 先史時代 (～紀元前 3000 年まで、305 頁参照)

- ・ 遊牧・狩猟による生活
- ・ 農耕の発達、集落・共同体の発足

2. 古代ギリシア、古代ローマの時代 (前 3000 年～後 500 年) : 古典古代 (308 頁参照)

※ 1 世紀前半、中東でキリスト教が成立するが、ヨーロッパ各地に広まったのは 5 世紀以降である (109 頁参照)。

- ・ ミケーネ文明の隆盛 (前 1600 年～前 1200 年、312 頁参照)
- ・ 暗黒時代 (前 1200 年～前 700 年、312 頁参照)
- ・ アテネ、スパルタに代表されるポリスの繁栄 (前 5 世紀～前 4 世紀、129 頁参照)
- ・ マケドニアのアレクサンドロス大王によるギリシア支配と東方遠征 (ヘレニズム文化の出現) 315 頁参照

- ・ 古代ローマの隆盛 (318 頁参照)、ガリア⁹⁹⁴支配、ゲルマン人との戦い (565 頁参照)

- ・ イエスの誕生 (前 7～前 4 年) と処刑・復活 (後 30 年頃、231 頁参照)
キリスト教の布教開始・普及 (1 世紀中頃より)

※ イエスはローマ帝政期、ギリシア化された中東で生まれ、宣教活動を始めた。

ローマ帝国におけるキリスト教の公認 (313 年)、国教化とその他の信仰の禁止 (380 年)

- ・ ゲルマン人の大移動 (4 世紀後半～6 世紀、222 頁参照)

- ・ ローマ帝国の東西分割 (395 年、322 頁参照)

東ローマ帝国 (ビザンティン帝国とも呼ばれる) の首都はコンスタンティノポリス (現トルコ・イスタンブール) に置かれ、1453 年まで存続した。

西ローマ帝国 の首都はメディオラーヌム (現イタリア・ミラノ)、後にラヴェンナ (現イタリア・ラベンナ) に遷されるが、ゲルマン人が台頭する中、弱体化し、476 年に滅亡。これをもって古代が終わり、中世に入る。中世は 1453 年に東ローマ帝国が滅びるまで続いた。

西ローマ帝国の滅亡 (476 年)	⇔	東ローマ帝国の滅亡 中世 (1453 年)
----------------------	---	-----------------------------

※ 中世は西ローマ帝国の滅亡ではなく、ユスティニアヌス 1 世の死去 (565 年) によって始まったと捉える立場もある (326 頁参照)。また、中世は東ローマ帝国の滅亡ではなく、ルターの宗教改革によって終わるとする説もある

ヨーロッパの中世と近代・近世について、348 頁を参照されたい。

⁹⁹⁴ 現在のフランス、スイス、ベルギー、また、部分的にドイツやオランダの領土と重なる。ゲルマン人の居住地であるゲルマニアとはライン川を境に分けられた。

3. ローマ帝国の東西分割：東欧のギリシア化と西欧のゲルマン化の時代 (476年～1050年)：中世初期

- ・ ヨーロッパのキリスト教化、教会（教皇）の権威が高まる。
 - ※ 610年頃 ムハンマドによるイスラム教の創始（116頁参照）
 - 711年、イスラム勢力（ウマイヤ朝）によるイベリア半島の占領（484、484頁参照）
- ・ 南スラブ人のバルカン半島への移動（6～7世紀、539頁参照）
- ・ 東ローマ帝国のギリシア化（7世紀以降） → ビザンツ化（136、325頁参照）
- ・ 西欧における農耕の発展、大土地所有者の出現（→ 身分社会、封建社会の出現）
- ・ フランク王国の発展と分割
 - 800年 国王カール（カール大帝）が教皇より西ローマ皇帝の冠を授けられる（572頁参照）。
 - **西ローマ帝国の復興、神聖ローマ帝国の成立**
 - 843年 フランク王国の3分割（331頁参照）
 - 962年 東フランク王国のオットー1世が教皇より神聖ローマ皇帝の冠を授けられる（332頁参照）。
 - **神聖ローマ帝国の成立**

4. 王国や都市の発展と騎士の時代 (1050年～1250年)：中世中期

- ・ 王権の強化、商業や都市の発展
 - 教会・教皇との対立（334頁参照）
- 西ヨーロッパにおける大聖堂の建築（63頁参照）
- ・ ノルマン人の南下（10世紀）、イングランド制服（ノルマン・コンクウェスト 1066年、223頁参照）
- ・ 東西両教会の分裂（1054年、252頁参照）、叙任権論争・カノッサの屈辱（1077年、334頁参照）
- ・ 十字軍遠征（騎士の活躍 1096年以降、417頁参照）
- ・ モンゴルの来襲（1240～41年、421頁参照）

5. ルネサンスと宗教改革、大航海の時代 (1300年～1600年)：中世後期・ルネサンス期

- ・ 古典の再生（ルネサンス 14～16世紀、340頁参照）、人文主義の発展（152頁参照）
- ・ 百年戦争（1337～1453年、337頁参照）
- ・ 黒死病の流行（1348年）
- ・ 教皇の鼎立（西方教会大分裂、西方大離教 1378～1417年、336頁参照）
- ・ 東ローマ帝国滅亡（1453年、422頁参照）
- ・ 羅針盤、火薬、活版印刷の発明（ルネサンス期の3大発明、342頁参照）
- ・ **大航海時代**（コロンブスのアメリカ大陸到達 1492年、342頁参照）
 - ※ ヨーロッパ外の領土獲得、富の拡大
- ・ スペイン統一（1479年、485頁参照）、国土回復運動の完了（1492年、484頁参照）
- ・ ルターの宗教改革（1517年、350頁参照） → 宗教戦争へ発展（355頁参照）

6. 絶対王政と科学の世紀 (1600～1700年)：近世 (初期近代)

- ・ 世界貿易や資本主義の発展
- ・ 科学革命 (ガリレオやケプラーの活躍、258 頁参照)

※「17世紀の危機」(356 頁参照)

- ・ 30年戦争 (355 頁参照)
- ・ イギリスでは清教徒革命と名誉革命を経て議会政治が発展 (503 頁参照)
フランスではルイ 14 世による絶対王政が確立 (460 頁参照)
オランダがスペインから独立し、海上覇権を掌握 (頁参照)

7. 啓蒙と「二重の革命」の時代 (1700年～1800年)：ブルジョワジーの世紀

- ・ 学問や自由思想の発達、啓蒙思想の発展
※ 主な啓蒙思想家：ロック、モンテスキュー、ルソー (144 頁参照)、ヴォルテール (261、358 頁参照)
- ・ フランス革命 (1789年、359 頁および 461 頁参照) → 立憲国家、人権保護、市民 (国民) の概念の発展
- ・ 産業革命 (361 頁参照)
- ・ ヨーロッパの覇権拡大 (植民地政策や奴隷貿易の発展)

8. ナポレオンと帝国主義・世界分割の時代 (1800年～1900年)：近代・産業革命期

- ・ ナポレオン 1 世によるヨーロッパ支配 (1804年～1814年、1815年、582 頁参照) とウィーン体制 (585 頁参照)
→ 神聖ローマ帝国の崩壊、ドイツ連邦の発足 (442 頁参照)
ギリシアの独立 (1830年、426 頁参照)、ベルギーの独立 (1831年、476 頁参照)
- ・ クリミア戦争 (426 頁参照) → ウィーン体制の崩壊
- ・ ナポレオン 3 世によるヨーロッパ支配 (1852年～1871年、463 頁参照)
- ・ ナショナリズムの高揚 → イタリアの統一 (1861年、369 頁参照)、ドイツの統一 (1871年、371 頁参照)
- ・ ルーマニア、セルビア、モンテネグロの独立 (1878年)
→ オスマン帝国からの独立 (427 頁参照)
- ・ 帝国主義の進展、植民地の再分割 (373 頁参照)
- ・ 自由主義運動の発展 (1848年の 2 月革命、463 頁参照)、民族の復興・再生 (364 頁参照)
人間の解放、社会主義の発展 (367 頁参照)

9. 世界大戦と帝国主義崩壊・近代化の時代 (1900年代前半)

- ・ 共産主義の発展 (368 頁参照) とファシストの台頭 (387 頁参照)
- ・ 第 1 次世界大戦の勃発 (1914年～1918年) と戦後のヴェルサイユ体制 (381 頁参照)
→ ドイツ帝国、オーストリア＝ハンガリー帝国、ロシア帝国、オスマン帝国の崩壊 (383 頁参照)
→ ヴァイマル (ワイマール) 共和国 (ヴァイマル共和制) の発足 (1919年～1934年、448 頁参照)
- ・ ソ連の発足 (1922年、386 頁および 518 頁参照)
- ・ 世界恐慌の発生 (1929年)
- ・ 第 2 次世界大戦の勃発 (1939年～1945年)、ユダヤ人の大量虐殺 (290 頁参照)

10. 冷戦と EU 統合の時代 (1900 年代後半)

- ・ NATO の設立 (1949 年 4 月、406 頁参照)、ワルシャワ条約機構の発足 (1955 年 5 月、396 頁参照)
- ・ 欧州石炭・鉄鋼共同体の発足 (1952 年、610 頁参照)
- ・ 欧州経済共同体 (EEC) の発足 (1958 年、610 頁参照)
- ・ 東欧革命と冷戦の終結 (1989 年、403 頁参照)
- ・ EU の発足 (1993 年、71 頁参照)
- ・ EU の東方拡大 (2004 年以降、615 頁参照)